

毎日寒い日が続いていますが、元気いっぱい戸外で身体を動かして遊ぶ子どもたち。上着を着て外に出ても「もう寒くない!」とすぐに上着を脱ぐこともあります。「鬼ごっこしよう! 私が鬼するからみんな逃げてね!」と友だち同士で誘い合って楽しんでます。

また、様々なリサイクル素材を使った制作にも取り組んでいます。「これは鬼さんのおうち!」「遊園地つくりたい!」等とイメージを膨らませて自由に表現することをとても喜んでます。

先月から、劇遊びの取り組みが始まりました。夕方の絵本をみんなで読む時にいつも、『やだもん』がいい!とリクエストをする子どもたち。そんな子どもたちの大好きな絵本“おばけのやだもん”を題材に取り組んでいます。みんなで話の内容や台詞、歌の歌詞を話し合っていました。「やだもんごっこしよう!」と保育者が言うと「やる! やった~!」と大喜びで取り組んでいます。初めは少し恥ずかしそうにしていた子どもたちですが、回数を重ねるうちに大きな声で台詞を言ったり、歌をうたったりして、自信をもって表現することを楽しんでます。日々の積み重ねや表現する楽しさを大切にしながら取り組んでいきたいと思ひます。2月17日(金)の保育参観日でご覧いただけますので、楽しみにしててくださいね!



園庭で遊んでいた時のこと。
滑り台がほんの少し濡れていたことに気付かず滑ったAくんとBくん。
「お尻濡れちゃった? 寒いし、冷たくない?」と保育者が聞くと…
「大丈夫だよ!
お尻が凍っちゃうかもね~!」と、嬉しそうに声をそろえて言うAくんとBくんでした。かわいらしい表現にくすっと笑ってしまいました。

寒い日が続いていますが、ひつじ組の子どもたちは「外で遊びたい!」「みんなで鬼ごっこしよう!」と言いながら毎日元気いっぱいに過ごしています。風揚げでは、風をいっぱい受けて飛び様子を見ながら「僕の尻、めっちゃ上がる~」と大喜びしながら遊んでいました。また、大学のグラウンドの日陰には氷ができるスポットがあります。行くと、毎回氷を確認し、「こんな大きいのができてるよ!」と言いながら友だちと一緒にその感触や溶けていく様子を見て楽しんでます。冬ならではの自然の変化にも目を向けて過ごしていきたいと思ひます。

劇遊びの取り組みも張り切っています。『♪ありがとこの花』や『♪にんげんっていいな』など、これまでうたってきた歌の中から、場面に応じた曲や歌詞をみんなで考えたり、物語に沿って話を進める中で、どのような台詞で言葉のやり取りをしようかと話し合ったり、子どもたち一つひとつ共有しながら進めてきました。「オオカミの歌は、怖い感じがいいんじゃない?」「こんな歌がいいんじゃないかなって、お家で考えてきたよ」など、積極的に話し合いに参加する姿も見られ、日々の取り組みを楽しみにしている気持ちが伝わってきました。次は、それぞれの役の気持ちを想像しながら動きや振り付けと一緒に考え、大道具、小道具を協力して作っていきたく思ひます。お互いの表現を認め合ったり、一つの劇に取り組む楽しさをたくさん感じたりしながら毎日の積み重ねを大切にしていきたいと思ひます。2月17日(金)の保育参観日でご覧いただけますので、楽しみにしててくださいね!



風揚げをしていた時のこと。
Aくん「先生、尻めっちゃ高くあがったで!」
保育士「ほんとうだね」
Aくん「なんかこのまま空飛べそうやな~」
かわいい一言に、癒されたひと時でした。

卒園まであと2か月になりました。「小学校楽しみやな。」「ランドセル何色?」「〇〇小学校行くんだ。」と会話の中で小学校の話題が増え、就学への期待を膨らませています。一方で「ずっと保育園にいたいな」と寂しさを口にする子どももいます。卒園まで一人ひとりの様々な気持ちを受けとめ、寄り添いながら過ごしていきたいと思ひます。

先月から、劇遊び『めっきらもっきらどおんどん』の取り組みが始まり、色々な役を演じて遊んできました。『かんだ』と『お化けたち』の不思議な世界の物語が大好きな子どもたちは、いきいきと表現することを楽しんでます。踊りの振り付けや歌作り、劇に必要な大道具や小道具、衣装など「こんなのはどうかな?」「それ、いいね、面白い!」と積極的に意見を出し合って、友だちのアイデアに共感しながら進めています。たくさん話し合うことで、お話の世界のイメージをみんなで共有していき、面白いぞう組オリジナル劇になっていっています。

これから、一つひとつの場面の登場人物の心情を話し合ったり動きを考えたり、友だちの演じる姿を認め合ったり、協力して道具作りをしたりして、みんなで楽しみながら作り上げていきたいと思ひます。2月17日(金)の保育参観日、楽しみにしててくださいね。



風船を使って鬼の面制作をしていた時のこと。
Aくん「あんな、昔から風船で空飛びたかってんな~」
Bくん「そうなんや」
Aくん「鳥がつついて風船割れたらあかんから、5個くらいはいるな」
Bくん「Aくん、5個は飛ばへんと思うで」
Aくん「じゃあ100個は、いるな(笑)」
Bくん「100個!!!それは、すごいな。」
ほのぼのとした2人の会話に癒されました。